



## 東京産業保健総合支援センター研修案内(令和5年5月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyos.johas.go.jp

## ◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施していません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

## ◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更しております。

お1人様、月1回のみの受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】(令和4年12月26日から一部変更)をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

## 日医認定産業医研修(令和5年5月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時			研修テーマ	単位
4月12日(水)	10時～	5月17日(水)	14時～16時	第14次労働災害防止計画の概要と重点	更新2	
4月17日(月)	10時～	5月15日(月)	14時～16時	産業医の職場におけるメンタルヘルス相談対応について	専門2	
4月18日(火)	10時～	5月9日(火)	14時～16時	衛生委員会における産業医の役割	専門2	
	10時30分～	5月16日(火)	14時～16時	医師の働き方改革 病院機能評価の概要	専門2	
	11時～	5月2日(火)	14時～16時	職場の感染症対策～新型コロナウイルス対策を中心に～	専門2	

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
5月2日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 4月18日(火) 11時～定員に 達し次第受付終了	職場の感染症対策～新型コロナウイルス対策を中心に～ 産業医の業務として職場の感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、現在流行中の新型コロナウイルス感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場や海外派遣労働者にリスクのある感染症対策の最新情報を解説します。	濱田 篤郎	生涯・ 専門2	29
5月9日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 4月18日(火) 10時～定員に 達し次第受付終了	衛生委員会における産業医の役割 労働安全衛生法上の衛生委員会に関する規定の基本と産業医にかかる規定をもとに、衛生委員会における産業医の役割を行政と民間企業において衛生委員会に参加してきた経験を踏まえて解説します。出席される方々の今後の産業医活動の一助になるような話になればと思っております。	秋元 成康	生涯・ 専門2	45
5月15日(月) 14:00～16:00 申込受付日時 4月17日(月) 10時～定員に 達し次第受付終了	産業医の職場におけるメンタルヘルス相談対応について 職場のメンタルヘルス問題において、産業医は中心的な役割を果たすことが求められています。たとえば、産業医はストレスチェックおよび面接指導を実施する等の場面で中心的な役割を担っています。また、働き方改革関連法において、産業医に労働者の健康管理等を行うために必要な医学に関する知識に基づいて、誠実にその職務を行わなければならないと明言されています(安全衛生法13条3項)。このことを踏まえこの講義では、産業医の職場におけるメンタルヘルスに係る相談対応への関わり方についてお話しします。	森田 哲也	生涯・ 専門2	45
5月16日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 4月18日(火) 10時30分～ 定員に達し次第 受付終了	医師の働き方改革 病院機能評価の概要 2024年から「時間外労働の上限規制」が課せられ、過重労働が常態化している医師の労働環境改善に向けて、医師の働き方改革が進められています。改正医療法の、勤務間インターバルや面接指導、連続勤務時間の制限などについて解説し、医療機関勤務環境評価センターが行う評価機能事業について概説します。	小島原 典子	生涯・ 専門2	45
5月17日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 4月12日(水) 10時～定員に 達し次第受付終了	第14次労働災害防止計画の概要と重点 新しい労働災害防止計画が、令和5年度からの5か年計画として始まります。労働災害防止計画は、労働安全衛生法に基づき厚生労働大臣が策定するものであり、国、事業者、労働者等の関係者が目指す目標や重点的に取り組むべき事項を定めています。重点事項として、安全衛生対策に取り組む企業が社会的に評価される環境整備、筋力等を維持するための運動プログラムの導入を含めた転倒災害・腰痛の防止対策の推進、高齢労働者の労働災害防止対策の推進、メンタルヘルス対策・過重労働対策・産業保健活動の推進、化学物質の自律的管理の推進などが定められています。この計画の概要と重点について解説します。	荒川 輝雄	生涯・ 更新2	45

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて**4月19日(水)10時～**です。

〈web研修〉 ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、**お申し込みください**◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
5月18日(木) 14:00～16:00	<p><b>【web研修会】</b> メンタルヘルス対策とハラスメント対策</p> <p>「職場のいじめ・嫌がらせ」行為は職場の秩序を乱し、労働者の勤労意欲の阻害や生産性の低下をもたらし、さらに労働者のメンタル不調の原因となるなど、様々な影響を及ぼします。ハラスメント対策を中心としたメンタルヘルス対策をポジティブに展開し、企業イメージの向上、社員のモチベーションアップ、離職率の低下、生産性の向上などにつなげられるよう、具体的な対策・防止措置を考えていきたいと思ひます。</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	産業カウンセラー 森井 梢江	50
5月25日(木) 14:00～16:00	<p><b>【web研修会】</b> 産業保健スタッフが知っておきたい職場におけるメンタルヘルス対策最新情報</p> <p>第14次労働災害防止計画、ストレスチェック制度、職場のハラスメント対策、健康経営、新型コロナウィルスとメンタルヘルスなど、職場のメンタルヘルス対策に関する情報や活用できるツールなどの最新情報を幅広くご紹介いたします。</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	こころの耳運営事務局 青木 良美	50
5月30日(火) 14:00～16:00	<p><b>【web研修会】</b> 「メンタルヘルス・マネジメント入門」～社員を円滑に専門家にたなぐ方法～</p> <p>社員にメンタルヘルス不調が発生した場合、その社員が医療、もしくは産業保健スタッフに繋がるまでは、主に管理監督者もしくは人事労務担当者が関わることになります。そこで、社員を精神科に繋げるためには、精神科が必要だという根拠を示し、かつ精神科の受診を勧めるという勧奨スキルも重要となります。個人情報ややりとりにも、丁寧に「同意を取る」関わりが必要です。本研修では、社員を円滑に専門家にたなげるための方法について解説を行います。</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	(株)ジャパンEAP システムズ 臨床心理士 松本 桂樹	50
5月31日(水) 14:00～16:00	<p><b>【web研修会】</b> レジリエンスについて</p> <p>仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないだろうか。EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	レジリエ研究所 所長/ (一社)国際EAP協会 日本支部 理事長 市川 佳居	50

★重要★ web上でグループワークを行いますので、カメラ及びマイク機能が必要となります。必ずカメラ機能をオンにして、ご参加ください。有線LAN接続によるPCでの受講を強く推奨いたします。

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
5月11日(木)  14:00～16:00	<b>労働安全衛生管理基礎講座②</b>  「労働安全衛生法」の中で 労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。 本講座ではテキストに当センター発行「令和4年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。 ・今回はその2回目です。1回目で、労働安全衛生法とは？その中には何が書かれているのか？など労働安全衛生法及び関係する諸規則等の全般について解説しましたが、今回は、安全衛生管理体制、健康診断等健康管理等について解説します。 ・3回目は、心と身体の健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等 ・4回目は、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)を予定しています。 本講座は令和4年度に実施した同名の講座と同様の内容となっておりますが、令和4年に改正された法令等については改正後の法令に基づき解説します。なお、「令和4年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください。(お持ちでない方は当日差上げます)	中山 篤	45
5月24日(水)  14:00～16:00	<b>がん等の両立支援、職場復帰支援の体制はいかがでしょうか ～事例に基づき、持続する働きのできる支援体制を考えていきましょう～</b>  がん等に罹患した労働者を健康面、人事面からしっかりサポートして治療と仕事の両立支援を図ることは、本人にとっても会社にとっても大変有意義な取り組みです。 今後、自社での対応を、組織的に実践していくためにも、治療と仕事の両立支援を一緒に考えていきましょう。 また、慢性疾患等に対しても同様、安心して治療できる、復帰できる職場環境等の調整が必要であることは周知のとおりです。 実践例から、持てる力が少しでも輝けるよう、自己達成感につながるよう、職場の理解を求める職場復帰支援、“その人らしい働き方”を認める体制づくりをしていきましょう。 (研修の内容は前回開催(令和5年4月26日)と同内容です。)	菅野 由喜子	45